

第 10 回委員会の意見
(4 章 本質的価値、5 章 現状と課題について)

委員からの意見	現時点での考え方
■4 章 仙台城跡の本質的価値について (第 10 回資料 4、5)	
3 時代の移り変わりを示す城郭構造 について	
○時期を具体的に記しては、対比するものがあることで貴重さがわかる。(山田委員)	貴重さがよりわかりやすくなるよう文章を修正します。
4 政宗らしさをうかがわせる特色ある遺構と遺物 について	
○「政宗は、～～(中略)～～高い価値を有しています。」が上の説明と関係なく記述されている。具体的な説明が必要。 例えば、「歴代藩主に継承され」はどの文化か、「庶民に及んだ」は庶民の何に及んだのか、「このような文化」は何を指すのか。(菊池副委員長)	日本遺産のストーリーを追加したものです。より分かりやすい文章となるよう修正します。
○サン・ファン・パウティスタ号出帆等、業績の一端として具体性を書き添えては。(山田委員)	本質的価値への記載はしませんが、仙台城の歴史や概要のところで日本遺産に含めて記載することを検討します。
○シンプルに表現を。例えば、「公的空間～できます」、「従来の伝統を重んじつつも」、「歴代の藩主へも継承され」、「江戸時代の」を取ると読みやすくなる。(今野委員)	ご指摘を踏まえ、修正します。
5 杜の都仙台の象徴 について	
○「象徴」は強い言葉である。何度も使わず、最後のまとめとして使うと重みが効く。 「権威の象徴」でなく、「藩政の中核施設であって」くらいに。(菊池副委員長)	ご指摘を踏まえ、修正します。
○訪れる人々にとっても重要な場所だと分かるように。「仙台の象徴としてふさわしい場所です。」とあるのがよい。(稲葉委員)	仙台市の象徴としてふさわしい場所であると伝わるように表現を検討します。
○天然記念物青葉山が「手つかずの自然」とあるが、倒木処理等を含め、管理してきたことで残されてきた。(北野委員長)	「手つかずの自然」は適当な表現ではありませんでした。明らかに人工的要素が加わった「御清水」などの具体的な要素は、本質的価値と整備の課題を整理する資料にて取り上げると良いと考えています。
○タイトルに違和感がある。(小齋委員)	タイトルは原案をベースとしたいと考えていますが、本文中で象徴という用語が多用されているため、整理したいと考えています。

委員からの意見	現時点での考え方
○都市という言葉を入れ「都市文化の象徴」「都市仙台の象徴」にしては。近代都市としての価値も表現されていることは、活かしてほしい。（北野委員長）	ご指摘を踏まえ、検討します。
4章 仙台城跡の本質的価値の全体の構成について	
○出土遺物には、政宗期以降の時期のものが多く、政宗期のもののみ取り上げられ、本質的価値では触れられていないので検討を。例えば、 3 で「使われ方に応じた様々な出土遺物もある」、 4 で「政宗を起点としてその後、様々なものが江戸時代の庶民に広がっていった」という書き方もある。（藤澤委員）	政宗期以外の遺物についても本質的価値 1 の中で記載します。
○ 1 3 は全体的城郭構造の話、 2 が本丸石垣の変遷のため、 1 3 2 の順にしては。（北野委員長）	ご指摘のとおり、修正します。
○造酒屋敷については、酒造りの施設が城内にある、と入れられないか。（北野委員長）	ご指摘のとおり、修正します。
■5章 仙台城跡における本質的価値の現状と課題について（第10回資料6）	
○「全体的課題」は「保存面の課題」と「活用面の課題」に分け、見出しを。（北野委員長）	ご指摘のとおり、修正します。
○「全体的課題」が個別に限定できない仙台城跡全体の課題であるならば、例えば、まず「史跡を環境も含めて良好に維持管理する」、次に「調査を踏まえて明らかになったことをわかりやすく表示する」、そして「それを使ってイベントでの利用や日本遺産との連携で活用していく」と整理しては。必要に応じて、具体的な内容を箇条書きにしては。（藤澤委員）	保存と活用、連携についての記載方法を検討します。
○課題はハード面だけでなく、ソフト面にも触れること。「学びの機会の提供」も全体的課題の一つ。（庄司委員）	ご指摘を踏まえ、検討します。
○「環境」という文言・視点が無い。用語として取り込む際は、「史跡仙台城跡にふさわしい植生環境の保全」等という言い方に。（馬場委員・北野委員長）	ご指摘を踏まえ、検討します。

令和元年度委員会等の意見と現時点での考え方

委員からの意見	現時点での考え方
<p>○[5]では、昭忠碑や忠魂碑等の扱いをどのようにするのか。本質的価値を構成しないとされているが、市民の思いと矛盾のないようにする必要がある。城のシンボルになっていれば、好影響を及ぼすものとして評価し、使用していくことは可能ではないか。（北野委員長・藤澤委員）</p>	<p>近代的な要素である顕彰碑などは本質的価値に含めることは難しいと考えていますが、利活用については個別での検討を行います。</p>
<p>■その他</p>	
<p>○保存活用計画策定時に行ったパブコメにて集まった、整備に関わる具体的な意見を検討の参考に。（藤澤委員）</p>	<p>委員会資料として、本資料のうち「保存活用時のパブコメ意見」にて整理しました。</p>
<p>○保存活用計画策定時に行ったパブコメへ「整備基本計画で検討する」と回答した意見について、本委員会で検討する時間が必要。（菊池副委員長）</p>	<p>委員会資料として、本資料のうち「保存活用時のパブコメ意見」にて整理しました。</p>
<p>○今後の整備は、わかりやすく全体が俯瞰できる形に。（藤澤委員）</p>	<p>検討します。</p>
<p>○簡略版は、仙台城跡に関心を持っている方の想像が膨らむような方向を目指してほしい。（藤澤委員）</p>	<p>検討します。</p>
<p>○「防災に配慮した城内環境の実現」、「外国人来訪者、障害者来訪者への対応」という課題を示すことで、観光客をどのように誘導すればよいか市民も考えることができる。（稲葉委員）</p>	<p>今回送付した資料3整備基本計画本文書の第5章に追記しました。</p>

第8回委員会の意見
(7章 整備基本計画のうち7-2~7-8について)

委員からの意見	現時点での考え方
■7-3 遺構保存・修復に関する計画、7-4 遺構表現に関する計画について (第8回資料10~12)	
○「復元建造物」ではなく、「歴史的建造物の再現」という記載が相応しい。「歴史的建造物の再現」には、「復元」と「復元的整備」がある。(北野委員長)	4/17 付で文化審議会により定められた「史跡等における歴史的建造物の復元等に関する基準」に従って修正しました。
○「復元遺構」については、仙台城跡に無いが、他遺跡でも良いので事例を示した方が良い。(藤澤委員)	追加予定です。
○「復元遺構」でなく「遺構復元」である。(北野委員長)	ご指摘のとおり、修正しました。
○具体的にどこをどの手法で整備するかまでは触れなくてよいが、手法の紹介だけで終わるのは良くないのでは。(北野委員長)	計画期間である今後10年で、どの遺構をどのように扱うか示したいと考えています。
■7-5 動線計画、7-6 案内・解説施設に関する計画について (第8回資料13~15)	
○天然記念物にある御清水への見学路整備については、天然記念物や植物の専門家の意見を踏まえた検討が必要である。(藤澤委員)	東北大学植物園に現地指導・助言をいただくよう検討します。
○現状と周辺整備、駐車場も含めた目指すべき動線をきちんと分けて、計画を示すこと。(北野委員長)	案を記載しました。
○選べるモデルコースを作ると良い。(北野委員長)	案を記載しました。
○殆どの来訪者は10~15分の滞在予定時間と聞くが、1時間くらいの見学ルートを設定し、長く滞在してもらえよう流れを考えてほしい。(小齋委員)	
○歩行者を増やしたい場合、現状の狭い歩道を改善する必要がある。(馬場委員)	「7-7 便益施設に関する計画」にて追加しました。
○眺望サインでなくとも、伊達家に関わるものについて、各方角に何があるか等のガイドブックがあると良い。(庄司委員)	日本遺産との関連をサインに活かすことも検討します。
○案内板・説明板を増やし、「もっと向こうに何かありそう」という含みをもたせると長く滞在してもらえらるだろう。(小齋委員)	7-5 動線計画、7-6 案内・解説に関する計画の記載にあたり、ご意見を反映させていただきます。

■7-8 地形造成に関する計画について（第8回資料16）	
○雨水・排水のみではなく、例えば、本丸東側の崖地の保全等、地形の保全についても記述すべきである。（北野委員長）	現行の整備基本計画 P22 の内容を基本的に踏襲する形で具体的に記載します。
■7-7 便益施設に関する計画、7-2 景観に関する計画について（第8回資料17）	
○眺望整備は、歴史的な物語と関係する意味付けが必要。丸裸の石垣が見えるのが良いとは言えない。ストーリーのある視点場を調査する必要がある。（北野委員長・菊池副委員長）	植生管理方針への記載を中心に、ご意見を反映させていただきます。
○計画的な剪定による木本類や草本類の育成や、地形保全のための植生管理も検討すべきである。地形保全と良好な都市の植生景観を作るための植生管理の全体計画がほしい。当面の10年間で重点的に行うと有効である。（北野委員長）	植生管理方針を記載します。
○本丸のみでなく、東北大の二の丸が見えるところ、三の丸エリアが見えるところも検討した方がよい。方針を整備計画に記し、最初の5年で良いので具体的なプロセスを提示するとよい。（北野委員長）	城郭全体の眺望を考慮し、植生管理方針を記載します。
○公園センターが夜間営業する計画である場合、登城可能とするなら、歩道の照明計画や舗装、冬場の扱いをどのようにするか検討すべきである。（馬場委員）	今後、追記を検討します。
夜間の観光活用は城の楽しみ方として重要であるため、照明計画も検討すること。（北野委員長）	
○ナイトツアー等行う際、公園内で犯罪が起らないよう整備することも要点の一つである。（北野委員長）	個別の対策について記載できるか検討します。
○野生生物については、10年程前に本丸駐車場の入口でクマが目撃されている。本丸西部から東北大植物園にかけて生息域と考えた方がよい。（藤澤委員）	個別の対策について記載できるか検討します。
■その他	
○資料6の5にて、「多様な」とあるが、このような表現で良いか文化庁に確認を。（今野委員）	文化庁から「外国人来訪者や障害者等が利用する施設における災害情報の伝達及び避難誘導に関するガイドライン」に則り外国人来訪者や障害者等と表現の変更を行います。

保存活用計画時のパブコメ意見と現時点での考え方

パブコメの意見	現時点での考え方
26 整備についてのこれまでの調査・準備報告書や未着手の理由・事情を示すべき。	整備基本計画改定の経緯について概略を示す方向で検討します。
77 東北大学・植物園、中島池、五色沼、長沼を含む地域を一つの「ビオトープエリア」とし、継続的な管理、保全を。	本計画で水系整備ゾーンと位置づけ、東北大学植物園との連携を図りながら、管理、保全について検討します。
52 懸造の復元を。伊達政宗の想いに浸る場所を作り、伊達家由来の茶会を催す。	懸造の推定箇所は崖地の崩落により、遺構面が多く失われており、復元は困難です。
57 巽門の復元を。	復元の対象とする方向で検討を進めます。
64 隅櫓の再建を。	復元の対象とする方向で検討を進めます。
62 遺構表示のため仙台市が敷地を購入して整備実施を。(大広間前の「能舞台」、一期・二期・現存石垣の時間的關係等の表示、大広間南西部の遺構表示、御成門遺構表示)	民有地であるため、土地所有者の意向を踏まえて検討します。
77 御清水の環境整備を。大気汚染による影響を考慮し、周辺の交通規制も視野に復元維持。	関係機関と連携し協議・検討を進めます。
30 史跡地内を通る市道について、将来的に車両通行止めとすることを方針に。	関係機関と連携し協議・検討を進めます。
31 史跡地内を通る市道について、時間制限にて登り方向だけの一方通行にし、車の交通量を制限しては。	関係機関と連携し協議・検討を進めます。
58 巽門から本丸へのウォーキングコースの整備を。(休憩スペース、足の弱い人への配慮・工夫、コース表示、清水門周辺の林の佇まい)	休憩施設等については、必要性を計画で記載しており、個別の整備は計画に沿って別途検討します。
58 見所や選択肢を多くし、再訪へのきっかけに。	ご指摘の視点を踏まえ計画を策定していきます。
59 本丸詰門から西回りの埋門の車道も散策道を主としては。	関係機関と連携し協議・検討を進めます。
60 中島池の復元を。	復元の対象とする方向で検討を進めます。
61 巽門跡からの登城路をまたぐ虎口(枅形)の南の堀の復元を。	復元を目指しますが、タイミングについては、公園センター完成後の整備と調整します。
62 東側崖の樹木管理を。また経ヶ峯の崖も緑が生い茂る景観は相応しくない。	本計画に基づき、東側崖の植生管理を行います。経ヶ峯は仙台城跡の史跡範囲に含まれないため、本計画では記載しません。

令和元年度委員会等の意見と現時点での考え方

パブコメの意見	現時点での考え方
34 仙台城周辺の文化資産を複合的・立体的に展開し企画することを期待する。	ご意見として受け止めてまいります。
35 日本遺産の活用については、経ヶ峯伊達家墓所と仙台城跡の双方に展望台を設置し、それらの関連性を理解してもらえるように。	仙台城では眺望の開けた場所に、解説板を設置します。経ヶ峯での設置は本計画の範囲に含まれないため記述しません。
36 日本遺産を構成する、貞山運河、白石市(白石城)、石巻市(サンファンバウティスタ号)の追記を。	7-9 関連文化財との連携に関する計画において概略を記載します。
37 七夕花火大会前余興として、懸造跡にプロジェクションマッピングを。	今後の検討にあたり、参考とさせていただきます。
38 るーぷるバス車内アナウンス内容に城跡との関連を持たせる。昇降口に観光パンフレットを置く。バス・地下鉄・タクシーの乗り継ぎの利便を図る。	ご意見を踏まえ、検討します。
39 広瀬川周辺、竜の口溪谷、大年寺山地区は、保護とともに、地域間で連携した活用を。 例：自然景観を活用したジオパーク、ジオサイト、(政宗が往来したと言われる)追廻花壇間に潜水橋など。	本計画の対象とはなりません、今後とも地域間連携の視点を持ちながら取り組んでいきます。
40 VRにて歩く登城路の作成を。	今後の検討にあたり、参考とさせていただきます。
41 インスタグラム映えする場所を作ってほしい。	杜の都仙台の象徴としてふさわしい姿を目指して整備していきます。
42 出前授業の内容を統一し、ボランティア団体との協働で授業数を増やしてほしい。	ボランティア団体との協働含め、より良い出前授業の内容を検討していきます。
43 本丸跡で親子ワークショップ(チャンバラ合戦)等の開催を。	ワークショップなどの開催は活用面で有効的であるため、検討します。
45 ICT活用の企画・実行を期待。	ご意見として受け止めてまいります。
44 仙台城跡の維持管理に市民が携わるように。(歴史を知り、郷土愛が醸成される)	現在市民参加の石垣清掃イベントを実施していますが、その他の市民参加企画についても検討していきます。
77 滝の口溪谷の環境整備と汚染の監視を。	ご意見として受け止めてまいります。